

■令和2年6月29日号（第1696号）

- ・国交省ら 海岸保全検討委、提言まとめ＝海面上昇、潮位偏差等影響考慮した対策へ
- ・埋浚協会ら 洋上風力拠点港湾等で提言＝研究会まとめ、規模等検討、全国7拠点
- ・浮体式風力 五島市沖の計画公募開始＝港湾局・エネ庁、来年6月に事業者選定
- ・国交省ら 高潮浸水想定図作成手引き＝有識者検討委、改定案
- ・国交省 堤防整備の新技术活用へ＝地盤改良等、2テーマで選定
- ・SCOPE 理事長に林田氏就任
- ・令和2年度交通政策白書が閣議決定＝コロナ影響、展開施策など
- ・国交省 グリーンインフラシンポ＝6/30、ウェブ配信
- ・八戸港 2期区域で護岸整備促進＝付帯施設、1期は築堤工の手続き
- ・赤羽大臣が東京港視察＝海の森トンネルなど
- ・室蘭開建 5.5m岸壁改良等＝追直漁港の整備促進
- ・姫路港広畑・網干地区 14m岸壁第2バース、臨港道＝国に事業採択要望
- ・四国地整 四国の港湾ビジョン策定＝第3回検討委、3本柱の施策打出し
- ・北九州空港 大型貨物エプロン増設調査＝物揚場との構内道路も検討
- ・不動産テトラ 地盤改良の自動打設システム開発＝「ジオパイロット・オートパイル」
- ・港コン協 Web方式で総会開催＝港湾調査研究会も実施
- ・日造・九大・東芝エネS 風車ウエイクモデル開発＝洋上ウィンドF発電量予測
- ・CNAC 令和2年度通常総会開催＝コロナ影響下での取組み
- ・CDM研究会 第43回通常総会を開催＝実績公表、PR、共同研究を
- ・7月募集 博多港物流トライアル＝ルート構築、効果検証
- ・洋上風力 10MW級114基受注＝MH1ヴェスタス
- ・東洋建設 建築施工技術研究発表会
- ・NEDO 洋上風力の落雷リスク＝7月、技術開発公募
- ・海岸・防災への貢献（2）日本ビーチ文化振興協会、草島校下環境美化推進協議会

■令和2年6月22日号（第1695号）

- ・港湾局 港湾のICT活用工事拡大＝今年度185件、本体工モデル工事9件等
- ・日本港湾協会 第93回定時総会開催＝来年度はいわき市で実施
- ・SCOPE 第4回洋上風力セミナー＝Web方式600人超聴講
- ・土木学会総会 家田会長就任インタビュー＝ポストパンデミック時代へ
- ・土木学会が表彰 ラックフェン国際港建設事業＝技術賞（IIグループ）受賞
- ・海事局 革新的造船技術研究事業＝8件の支援先決定
- ・海事局 海のドローン活用へ＝ガイドライン、人材育成
- ・国交省 建設業法令遵守推進本部＝活動方針、改正法の周知・徹底
- ・国交省 官民連携基盤整備募集＝第3回、9月下旬交付

- ・仙台塩釜港 築造でケーソン4函据付＝塩釜港湾、仙台港区ふ頭再編改良
- ・室蘭開建 水深3m岸壁改良等＝登別漁港の今年度事業
- ・茨城港 延伸工事本体工の手續＝常陸那珂港区、中央ふ頭水深12m岸壁
- ・神戸港 航路附帯施設の基礎工事＝50億円未満で第2四半期に
- ・名古屋港 飛島ふ頭東再編事業＝PC桁の製作・運搬工事へ
- ・下関港海岸 新川水門の整備手続き＝水門製作、躯体築造工
- ・三河港湾 臨港道東三河線の概略検討＝衣浦港では防災機能強化等
- ・洋上風力 4区域の指定案公告・縦覧＝再エネ海域利用法、秋田沖、銚子沖
- ・レノバ等 鹿島建設を優先交渉者権＝由利本荘市沖洋上風力プロジェクト
- ・日港連 第37回通常総会開催＝外国人材センター設置
- ・海上GPS機構 第15回通常総会開催＝洋上風力支援など視野
- ・港コン協 国交省港湾局へ緊急要望＝新型コロナウイルス感染症の対応
- ・港コン協 東京都港湾局に緊急要望＝新型コロナ対策
- ・2050年 洋上風力14億kW開発＝長期ビジョン、海洋エネ世界連合
- ・NEDO 再エネ大量導入へ調査＝前提条件等を比較・整理
- ・改正法 JOGMEC業務追加＝LNG、鉱物開発支援
- ・海岸・防災への貢献(1) 海岸管理者・根室市、東北地区港湾整備促進協議会

■令和2年6月15日号(第1694号)

- ・洋上風力 銚子沖の促進区域案を合意＝一般海域3,948ha、第3回協議会
- ・日港連ら 特定技能外国人検討協議会＝初会合、海洋土木工の受入方策等
- ・国交省 直轄工事一時中止解消へ＝新型コロナ、7月上旬に全工事再開
- ・SCOPE 第4回洋上風力セミナー＝ウェブ方式で6/18開催
- ・港湾統計速報3月分＝外貿コンテナ速報値
- ・日本全国みなと便り(70) 長崎港・佐世保港・巖原港ほか
- ・新潟港 航路泊地付帯施設整備等＝西港区、排砂管敷設工事を発注
- ・室蘭港 祝津絵柄地区岸壁改良＝直轄事業、鋼管杭、上部工など
- ・室蘭市 施設老朽化対策など＝来年度最重点要望事項
- ・高松港 朝日地区複合一貫輸送ターミナル＝新規事業化で設計等作業
- ・高知港海岸 湾口地区事業着手へ準備＝基本・実施設計等作業に
- ・福山港 箕沖地区ふ頭改良事業＝土留め護岸築造等工事
- ・港湾局 港湾BCP策定指針を改訂＝直前予防対応で被害軽減
- ・港湾海岸防災協議会 創立60周年事業＝港湾海岸防災功労者表彰
- ・港湾協会 2年度日本港湾協会賞＝港湾功労者受賞者発表
- ・浮体式洋上風力 低コスト化技術開発・調査＝NEDO、ロードマップ作成も
- ・北海道 洋上風力導入へ調査検討＝道内適地、系統接続等

- ・北海道 7 空港 新千歳空港民間運営開始＝事業所設置、北海道エアポート
- ・北海道 ダブルポート連携協定＝新千歳空港、苫小牧港
- ・東京ガス 浮体式洋上浮力の展開へ＝米国技術保有会社に出資
- ・酒田市 コロナ感染拡大防止へ＝マスク輸入、酒田港到着
- ・NEDO 中国の海洋エネ動向＝レポートを公表
- ・政府 エネルギー白書閣議決定＝再エネ主力電源化など
- ・気候変動・防災シンポ＝6/30、環境省

■令和2年6月8日号（第1693号）

・高潮・高波・暴風 港湾の防災・減災対策まとめ＝港湾局検討委、港湾BCP策定指針も改訂

- ・港湾局 バルク貨物流動調査実施＝5年に1度、結果とりまとめ
- ・国交省 先導的官民連携支援事業＝港湾緑地、空港運営等
- ・国交省 海岸保全のあり方検討委＝提言骨子案を議論
- ・港コン協 災害時の情報伝達訓練＝Web会議方式で実施
- ・日本全国みなと便り（69）四日市港・津松阪港
- ・川崎港 臨港道路東扇島水江町線＝関東地整、東扇島下部工・上部工事
- ・国交省ら 高規格の道路基本計画＝第2回開催、千葉県湾岸地区検討会
- ・横浜港 本牧ふ頭再編事業＝市が岸壁補修の調査
- ・名古屋港 第3ポーアイ西の遊水池＝沈殿土砂減容化へ地盤改良
- ・浜田港 福井3号岸壁老朽化対策＝プレキャスト版で改良工
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場2期＝WTO3件で築造工開始
- ・高知港 三里地区東第一防波堤＝粘り強い化工事を促進
- ・港湾局 港湾の走錨事故防止対策＝港湾技術基準告示、橋げたへの防衛設備設置
- ・国交省 建設資材物流マネジメント＝ガイドラインを策定
- ・中部電力ら 由利本荘沖洋上風力事業＝アセス配慮書、最大出力84万kW計画
- ・洋上風力 住商らコンソーシアム結成＝能代市沖等、48万kW計画
- ・九電みらい 秋田沖洋上風力本格検討＝ドイツ再エネ大手と共同
- ・港コン協 新たな災害対応規程を制定＝リエゾン派遣で機動力発揮
- ・RSO 第21期総会開催＝今年度事業を书面表決
- ・沿岸センター 洋上風力ウェブ会議開催＝国、管理者ら約40人参加
- ・日本気象協会 台湾洋上風力調査業務＝鳥類観測技術が採用
- ・平塚波力発電所の実証＝東大らが海域試験
- ・海事局 内航船省エネ格付け

■令和2年6月1日号（第1692号）

・大阪湾岸道路西伸部 杭の静的載荷試験を実施＝国内最大規模大口径鋼管杭、地盤高度の詳細把握へ

- ・港湾局 総合的な防災・減災害対策＝防災部会、骨子案を提示
- ・港湾空港事業 感染拡大防止ガイドライン＝関係5団体が作成
- ・土木学会 令和元年度土木学会賞＝功績賞に磯部氏、鬼頭氏ら
- ・日本全国みなと便り (68) 浦河港
- ・鹿島港 防波堤整備や12m岸壁等＝外港地区、ケーソン据付・製作発注
- ・横浜港 WTO案件で築造工事＝大黒ふ頭再編改良事業
- ・能代港 既設護岸の撤去2件＝大森地区国際物流ターミナル
- ・那覇港 新港ふ頭クルーズバース＝岸壁築造工事等順次着手
- ・北九州港 新門司フェリーバース整備＝年度内完成へ築造工事
- ・那覇空港 従前エリアの更新・高度化＝滑走路改良や高架道延伸
- ・和歌山下津港海岸 大規模護岸構造物検討＝最新技術知見などを視野
- ・五洋建設 地盤情報可視化ツール＝伊藤忠テクノ「G i - C I M」を開発
- ・東亜建設工業 中期経営計画を策定＝長期ビジョン、洋上風力、海外展開推進
- ・東亜建設工業 3月期決算増収・増益＝海外大型案件を複数受注
- ・中部国際空港 3月期決算8期連続増収＝今年度業績予想は未定
- ・港湾局 みなとオアシス佐田岬＝全国139箇所目の登録
- ・建設リサイクル推進計画＝国交省、意見募集
- ・就任の抱負 国土技術政策総合研究所 水上純一副所長

■令和2年5月25日号(第1691号)

- ・埋浚総会開催 働き方変革、生産性向上を＝清水会長会見、ピンチをチャンスへ
- ・国交省 官民連携基盤整備調査＝案件採択、小名浜、三河、松山港等
- ・海事局 将来像検討委員会開催＝報告書まとめへ議論
- ・閣議決定 改正建築業法の施行令＝技術者配置、規制合理化等
- ・カンボジアP A S・ルー総裁＝旭日中綬章、土木学会賞
- ・日本全国みなと便り (67) 徳山下松港ほか
- ・小名浜港 2本の防波堤整備を再開＝直轄事業、先行捨石と本体据付け
- ・久慈港 本体工事その2を7月＝東北地整、湾口地区防波堤整備
- ・稚内港 北防波護岸の改良＝床版部と胸壁部補修
- ・広島港 宇品ふ頭の再編改良事業＝東側半分から先行整備へ
- ・大阪港 北港南に複合一貫輸送ターミナル＝大阪万博等の需要に対応
- ・松山空港 R E S A 滑走路端安全の確保＝周辺環境把握調査
- ・境港 次期港計改訂へ素案策定＝コンテナふ頭の集約再編
- ・四国地整発注見通し(令和2年4月期)

- ・経産省 苫小牧CCS実証概要成果＝総括報告書を公表、拠点化、コスト試算等
- ・海技協 登録海上起重基幹技能者＝令和2年度、講習日程等を公表
- ・日本初 LNGバンカ船が進水＝中部地区、秋頃供給開始
- ・国交省 建設業のコロナ予防対策＝ガイドライン策定
- ・国交省 PPP推進へ案件募集＝官民連携導入を支援
- ・住友商事 洋上風力の商業運転開始＝ベルギー沖、219MW
- ・土木学会 インフラ健康診断講習会＝6/16、オンライン開催

■令和2年5月18日号（第1690号）

- ・沿岸センター ウェブで洋上風力講習会＝設計技術・適合性確認等
- ・苫小牧港 LNGバンカリング検討会＝成果公表、早期実現へ課題整理
- ・阪神国際港湾 新型コロナ対策支援事業＝内航フィーダー回送等
- ・港湾局 濱口梧陵国際賞募集＝津波・高潮、7月に受賞者決定
- ・人事（5月1日付）
- ・日本全国みなと便り（66）秋田港・船川港・能代港
- ・千葉港 船橋地区海岸事業化調査＝関東地整、千葉中央マイナス9m岸壁も
- ・羽田空港 アクセス鉄道基盤施設＝今年度事業、新規に調査・設計着手
- ・稚内開建 利尻町の杓形、鴛泊港＝日出岸壁と防波堤改良
- ・徳山下松港 国際バルク戦略港湾整備＝ジャケット2基築造手続き
- ・志布志港 新若浜のバルクバース＝2函のケーソン製作工
- ・八代港 大築島土砂処分場の整備＝地盤改良工事などを推進
- ・宇部港 港湾計画改訂へ地港審開催＝新沖の山に幹線貨物輸送ターミナル
- ・四国地整発注見通し＝令和2年4月期
- ・経産省 エネ海外展開の可能性調査等＝補助・委託決定、作業船、洋上CTなど
- ・世界主要20港 新型コロナ対策で共同宣言＝神戸港等、港湾機能維持等へ連携
- ・国交省 大規模水害シンポ開催＝調査団成果報告など
- ・JERA 洋上風力世界フォーラムに参加＝浮体式などで連携へ
- ・自然電力 風力・太陽光併設発電所＝北九州港、商業運転開始
- ・防災学術連携体 緊急メッセージを公表＝感染症と自然災害、複合災害への備えを
- ・所長就任の抱負 港湾空港技術研究所 稲田雅裕所長

■令和2年5月11日号（第1689号）

- ・港湾局 港湾の防災・減災対策推進＝高潮・高波・暴風＝検討委最終とりまとめ議論
- ・春の叙勲 瑞中に大村氏、宍戸氏、中尾氏＝瑞小、瑞双、瑞単で7氏
- ・春の褒章 港湾関係4氏2団体が受章＝藍綬に大滝氏ら
- ・港湾局 データ連携基盤構築へ議論＝サイバーポート第5回WG開催

- ・国土強靱化計画 2020＝素案検討資料を公表
- ・日本全国みなと便り (65) 東京国際空港
- ・仙台塩釜港 岸壁のケーソン据付開始＝塩釜港湾、仙台港区ふ頭再編改良
- ・横浜港 港湾整備会計運営計画＝新本牧、ロジスティクス拠点等
- ・東北地整の港湾空港＝直轄事業、久慈港防波堤 31 億円
- ・東北地整発注見通し＝業務 (令和 2 年 4 月期)
- ・舞鶴港 今年度事業化検証調査へ＝国際ふ頭第 2 バース整備
- ・神戸港 第 5 防波堤東側本体撤去＝今年度に必要区間を完了
- ・清水港 日の出ふ頭改良工進捗＝鋼管矢板打設が最終段階
- ・岩国港 臨港道路 4 号橋手続中＝ 3 号橋は 1 P 工事を予定
- ・神戸港 第 5 防波堤東側本体撤去＝今年度に必要区間を完了
- ・中部地整発注見通し＝令和 2 年 4 月期
- ・土木学会提言 インフラメンテ新技術適用へ＝制度構築提案、性能規定化、具体化方策等
- ・理事長就任の抱負＝海上・港湾・航空技術研究所 栗山善昭
- ・一般公開 国土交通データ P F 構築＝約 22 万件の情報を連携
- ・NEDO 革新的な低炭素技術開発＝公募、未踏チャレンジ 2050
- ・佐賀県 洋上風力で地域振興検討＝唐津市沖、検討会設置へ
- ・長崎大、西海市＝海洋エネ分野で協定締結
- ・阪神国際港湾 アジア広域集貨事業＝トライアル、募集

■令和 2 年 4 月 27 日号 (第 1688 号)

- ・新型コロナ後の経済社会＝求められる国内への産業回帰
- ・国交省・農水省 高潮浸水想定区域検討会＝初会合、手引きの見直しへ
- ・日本全国みなと便り (64) 稚内港ほか
- ・伏木富山港 新湊、富山地区岸壁改良＝北陸地整、築造その 2 など手続
- ・関東地整 今年度の港湾空港整備＝直轄事業、羽田に 426 億円弱
- ・東北地整発注見通し＝工事 (令和 2 年 4 月期)
- ・大分港 大在西地区複合一貫ターミナル＝施工検討業務の手続きへ
- ・姫路港 広畑地区事業化検証調査＝貨物量大幅増、水深 14m 岸壁を整備
- ・北九州空港 滑走路延伸 (案) へ調査＝基本設計計画の検討など
- ・九州地整発注見通し＝業務 (令和 2 年 4 月期)
- ・長崎県五島市沖 促進区域公募占用指針案＝経産省、国交省、浮体式洋上風力、意見募集
- ・港湾局 フェリー等の輸送効率化へ＝大型化、新技術適用検討
- ・国交省 津波防災地域づくり支援＝防災・安全交付金重点配分
- ・第 49 回 総合海洋政策本部参与会議＝重要施策、意見書案審議
- ・商船三井 アジア初の SOV 事業＝台湾洋上風力発電に従事

- ・経産省 資源燃料政策の指針＝新国際資源戦略を策定
- ・港湾局 海域周辺観光の開拓など＝支援事業の公募延長
- ・インフラメンテ大賞＝募集期間延長、5/29 まで

■令和2年4月20日号（第1687号）

- ・国交省 新型コロナ対策取組等＝受注者の希望を優先配慮
- ・国際戦略港湾 競争力確保へ重点化継続＝5港合計約913億円で整備
- ・令和2年度 地方創生港湾整備推進交付金＝約87億円、28計画に配分
- ・国交省 i-Con 推進へ技術公募＝政策課題、非接触、省人化など
- ・日本全国みなと便り（63）高松技調
- ・横浜港 新本牧ふ頭の第1期地区＝市事業、ケーソン据付や地盤改良
- ・千葉港 複合一貫輸送ターミナル整備＝9m耐震岸壁に着手
- ・茨城港 東防波堤基礎と本体＝12m岸壁も本体製作へ
- ・北陸地整発注見通し（令和2年4月期）
- ・四日市港 コンテナ岸壁第2バース＝今年度、事業化検証調査に着手
- ・下関港 クルーズバース整備＝ケーソン6函築造工
- ・高知港 三里地区防波堤機能強化＝延伸や津波対策促進
- ・九州地整発注見通し（令和2年4月期）
- ・国交省 総合物流施策推進プログラムを改定＝重要施策・目標、港湾低炭素化など
- ・J S C E 2020 土木学会5か年計画策定＝中期重点目標、土木で未来社会創造
- ・環境省が作成・公表 海域版の鳥類影響マップ＝洋上風力検討に活用
- ・レノバ等 由利本荘沖洋上風力事業＝MH I ヴェスタス社製
- ・海事局 サプライチェーン最適化＝造船事業の連携方策検討
- ・国交省 競争参加施策の再認定＝基準改定で受付
- ・日立造船 ミャンマーの水力発電＝豊田通商から水門等受注
- ・西海市再エネ活用計画＝促進区域、洋上風力等

■令和2年4月13日号（第1686号）

- ・洋上風力 促進区域の公募指針まとめ＝長崎県五島市沖、合同会議開催、評価基準等
- ・閣議決定 コロナ対策補正予算案＝国交省432億円、CIM、リモート型転換
- ・港湾局 海洋周辺の訪日観光支援＝開拓・魅力向上事業公募
- ・国交省 海岸保全あり方検討委＝海面上昇量の設定等
- ・日本全国みなと便り（62）石垣港
- ・横浜港 新本牧ふ頭防波護岸着工＝関東地整、WTO地盤改良を2件
- ・鹿島港 外港12m岸壁事業化＝洋上風力発電に対応
- ・関東地整発注見通し（令和2年度4月期）

- ・徳山下松港 水深 19m国際バルクバース＝栈橋 2 基築造発注予定に
- ・名古屋港 飛島ふ頭再編で上部工事＝P C床版の製作・据付等
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場 2 期＝今年度から護岸築造
- ・近畿地整発注見通し（令和 2 年度 4 月期）
- ・阪神国際港湾 中長期計画「H P C 2024」集貨・創貨施策の強化など
- ・着床式洋上風力 秋田沖の促進区域指定へ＝ 2 海域、協議会で概ね合意
- ・各社トップの入社式訓示
- ・国交省 シベリア鉄道実証結果＝極東港湾、課題抽出、対応方策
- ・令和元年度 地盤工学賞を決定・公表＝ 3 部門 13 件を選定
- ・クルーズ&フェリー学会＝コロナ感染防止へ提言
- ・Y K I P ターミナル借受者選定＝横浜港南本牧ふ頭
- ・Y K I P 集貨、航路誘致支援事業＝国補助金活用、募集開始
- ・再エネ新会社設立へ＝トヨタ、中部、豊田通商
- ・国交省、選定・公表＝P P P 協定パートナー

■令和 2 年 4 月 6 日号（第 1685 号）

- ・令和 2 年度 直轄港湾事業、新規 6 件採択＝フェリー・R O R O、基地港湾、クルーズ関連等
- ・港湾局人事（4 月 1 日付） 港空研所長に稲田氏＝九州副局長には遠藤氏
- ・日本全国みなと便り（61）志布志港
- ・新千歳空港 誘導路の複線化整備促進＝札幌開建、R E S A は用地協議
- ・敦賀港 今年度に 6 函据付け＝鞠山南地区 14m 岸壁
- ・横浜港 大黒ふ頭岸壁改良＝防舷材をグレードアップ
- ・北九州港 響灘の洋上風力基地整備＝R 2 年度新規事業採択へ
- ・大分港 大在西地区複合一貫ターミナル＝R 2 年度新規事業に採択
- ・長崎港 松が枝第 2 クルーズバース＝R 2 年度新規事業採択
- ・高松港 朝日地区に大型フェリーバース＝R 2 年度新規事業採択へ
- ・那覇空港第二滑走路＝菅官房長官らが供用祝福
- ・洋上風力 技術基準の統一的解説策定＝国交省・経産省、一般海域の導入促進へ改定
- ・国交省 令和 2 年度予算成立、配分＝横浜新本牧事業 176 億円等
- ・港湾局 点検診断の工夫事例集＝維持管理計画書も、ガイドライン、新技術活用を
- ・国交省 環境部会合同会議を開催＝行動計画の点検、対策強化
- ・J O G M E C 新たな海底熱水鉱床発見＝奄美大島沖、高品位
- ・港湾局 I C T 活用工事推進へ＝積算要領等を改定
- ・国交省 バリアフリー化整備促進＝旅客船ターミナル等、ガイドライン改訂
- ・鹿島建設 洋上風力建設に本格着工＝秋田港、能代港の事業

- ・海事局 ゼロエミッション船＝ロードマップ策定
- ・外貿コンテナ 港湾統計速報1月分＝主要6港で6%減
- ・国交省 先導的官民連携支援事業＝公募、中小団体枠新設
- ・国交省 訪日外国人流動データ＝2018年分を公表

■令和2年3月30日号（第1684号）

・高田港湾局長 令和2年度施策展開等を語る＝防災・減災、戦略港湾、クルーズ、洋上風力

- ・港湾局 各施設の点検診断効率化＝技術検証、公募開始
- ・港湾局 遠隔操作RTG補助事業＝令和2年度、公募開始
- ・海事局 マリンチック街道選定＝新たに7ルート
- ・グリーンインフラ 官民連携PFを設立＝国交省等、409名が参画
- ・日本全国みなと便り（60）留萌港・増毛港ほか
- ・苫小牧港 岸壁、物揚場改良等促進＝室蘭開建、真古舞はケーソン据付
- ・能代港 大森地区国際物流ターミナル＝新年度に既設護岸撤去
- ・山形県 滑走路2500m化＝空港機能効果検討調査
- ・福山港 箕沖地区岸壁本体築造へ＝ジャケット政策・据付工
- ・那覇港 沖縄研究会が成果まとめ＝新港地区外内貿コンテナふ頭再編
- ・福岡空港 滑走路増設事業を促進＝誘導路新設や地盤改良
- ・航空局 A2-BCP策定ガイドライン＝見直し公表、自然災害に強い空港へ
- ・日ロシア間 新規航路誘致へ広域連携＝港湾局、混載貨物輸送の検討等
- ・五洋建設とDEMEグループ 洋上風力分野で覚書締結
- ・東亜建設工業 シンガポールで工事受注＝埋立、土砂受入基地運営
- ・東亜建設工業 船舶監視システムを試験導入＝AI画像認識技術利用
- ・東京湾 海洋環境の保護、発展へ＝感謝祭実行委が協定締結
- ・防災学術連携体シンポ＝低頻度巨大災害を考える
- ・国総研ら 北極海航路の航行実態＝共同研究、成果公表
- ・東京電力 銚子沖WF事業で新会社＝エルステッド社と共同出資
- ・MH I ヴェスタス 秋田沖向け洋上風車33基＝国内で初の正式受注
- ・観光予備費 滞在コンテンツ造成支援＝新型コロナ対策、7億円
- ・航空局 羽田空港新飛行ルート＝実機飛行確認結果を公表

■令和2年3月23日号（第1683号）

- ・港湾局 港湾事業の情報PF構築へ＝横浜港新本牧、帳票管理システム統合・クラウド化
- ・港湾局 基本方針見直し、告示＝基地港湾制度を追加
- ・大規模災害 海上・航空のボトルネック＝国交省、シミュレータ開発へ

- ・国交省 官民連携事業導入支援＝維持管理等、対象募集
- ・国交省 建設リサイクル計画提言＝中長期的な方向性など
- ・海事局 航路情報オープン化へ＝標準仕様、簡易作成ツール改良
- ・国交省 ミャンマーで次官級会合
- ・【特集】那覇空港第二滑走路供用
- ・久慈港 WTOで築造と本体工事＝東北地整、湾口地区防波堤整備
- ・神戸港 臨港道路の施工検討業務＝橋梁基礎部施工法や工程
- ・名古屋港管理組合 令和2年度予算まとめ＝建設費約219億円見積
- ・津松阪港海岸 栗真地区の堤防改良へ＝既設堤防活かし補強等
- ・国交省 地球温暖化施策の見直し検討＝カーボンフリーポート実現等
- ・日立造船 海底設置式フラップゲート水門＝兵庫県福良港向けを受注
- ・東洋建設・日立造船 洋上風力低コスト化実証＝サクシオンバケット基礎
- ・日本郵船 プラゴミマップ作成調査＝千葉工大と覚書締結
- ・日本風力開発グループ 秋田県立大と協定締結＝洋上風力の人材育成
- ・海事局 造船ICT技術等6件＝生産性革命、補助金交付
- ・海事局 内航船の省エネ実証＝新規3事業採択、支援
- ・航空局、経産省 空飛ぶクルマ協議会開催＝ビジネスモデル提案
- ・JAMSTEC等 データ検索・取得システム開発＝気象シミュレーション
- ・みらい建設工業 人事異動・機構改革

■令和2年3月16日号（第1682号）

- ・直轄港湾事業 品質確保調整会議を設置＝来年度入札契約、休日確保、作業船の加点等
- ・港湾局 中長期事業見通し明示へ＝港湾毎、秋頃まとめ
- ・東日本大震災から9年＝各港の取組み、現状等
- ・JOPCA 技術協力のあり方研究会＝港湾インフラ、官民の連携・協力を
- ・土木学会 無料オンライン講座＝i-Con、募集開始
- ・日本全国みなと便り（58）鹿児島港ほか
- ・八戸港 築造・基礎・本体工など＝東北地整、航路泊地付帯施設整備
- ・湾岸道路 多摩川トンネル準備工事＝川崎国道、立坑に向け作業ヤード
- ・小名浜港 マイナス16m岸壁が完成へ＝浚渫は最終の手続き
- ・那覇港湾空港整備事務所 クルーズバースや臨港道路＝空港関連施設整備も実施
- ・舞鶴港 臨港道路上安久線整備＝新年度の現地着手見込む
- ・和歌山下津港 泊地浚渫工事手続き中＝本港地区の水深13m化等
- ・五洋建設 レグ着底監視システム開発＝リアルタイム可視化、SEP船へ導入
- ・海事局 浮体式風力の技術基準改正＝建造・設置コスト低減へ
- ・北陸地整 第3回BCP協議会＝行動手順案を提示し議論

- ・ 苫小牧港 LNGバンカリングで連携＝バンクーバー港と覚書締結
- ・ J E R A 200万kW規模洋上風力＝台湾、権益44%取得
- ・ N E D O ブルーカーボン技術戦略＝来年度、AP策定へ調査
- ・ 東洋建設 武澤社長が現場パトロール＝名瀬港、災害復旧工事
- ・ J A M S T E C等 深海底でプラ分解試験＝世界初、南鳥島周辺で実施
- ・ 大阪ガス、アカシア＝洋上風力事業で協力締結
- ・ みなと総研 みなとづくり助成募集＝港・海辺活動と調査研究

■令和2年3月9日号（第1681号）

- ・ 港湾局 バルク貨物の輸送効率化へ＝戦略港湾目標年、流動調査実施、施策展開を
- ・ 国交省 新規事業化候補を公表＝港湾整備事業は6件
- ・ 国交大臣表彰 ジャパンコンストラクション国際賞＝湾横断橋梁P、技研施工等
- ・ 国交省 PPPパートナー協定＝4タイプで公募
- ・ 新型コロナ 直轄工事・業務の中止対応＝国交省、専用サイト開設
- ・ 日本全国みなと便り（57）青森港
- ・ 小樽港 第3号ふ頭10m岸壁改良＝中央地区、補正工事を第1四半期
- ・ 鹿島港 南防波堤本体工の手續＝外港地区、ケーソン2函海上打継
- ・ 大船渡港 岩手県、軽易な変更＝野々田地区に耐震岸壁
- ・ 中空沖埋立 環境影響評価書縦覧開始＝今後は埋立承認手続きへ
- ・ 那覇港管組 物流機能強化施策を展開＝総合物流センター、順調な滑り出し
- ・ 志布志港 新若浜地区の岸壁延伸＝上部等仕上げ工事手続き
- ・ りんかい日産 洋上風力にテーパー杭有望＝実証試験成果まとめ、CO2、コストとも半減
- ・ J W P A、G W E C 日本洋上風力F Tを設立＝コスト低減等を検討
- ・ C D M研究会 スラリー攪拌工 I C T実証＝深層混合処理、大径変位低減型の工法開発
- ・ 第43回SCOPE講演会開催＝成田空港の機能強化
- ・ J M U セミサブ型浮体独自開発＝12MW級洋上風車対応
- ・ 三菱商事、中部電力 英国で海底送電事業＝優先交渉権を取得
- ・ M H I ヴェリタス 9.5MW風車62基受注＝台湾向け、アジア地域で初
- ・ 日本気象協会 ポラリス新サービス提供＝気象海象予測データ等
- ・ 国交省 建設現場革新的技術公募＝5G通信、データ活用等
- ・ 海・港維持管理士会 長崎市で第19回講演会（5/20）＝参加者募集中

■令和2年3月2日号（第1680号）

- ・ 作業船船舶損料 抜本の見直し視野に検討＝港湾局、算定法策、4年度改定へ反映
- ・ 令和2年度 港湾工事積算基準を改定＝港湾局、船舶損料算定基準も
- ・ 航空局 第9回航空分科会を開催＝今後の課題等を検討

- ・国交省 建設リサイクル推進計画＝次期計画案とりまとめへ
- ・国交省 官民インフラ会議＝来年度、モロッコ開催等
- ・海事国 バングラで浮体式コンテナターミナル＝事業化に向け調査検討
- ・日本全国みなと便り (56) 広島技調
- ・室蘭港 目指す姿と展開施策など＝第2回長期構想検討委を開催
- ・伏木富山港 鋼管矢板打設の手続き＝新湊地区2号岸壁改良
- ・石狩湾新港 令和元年貨物量＝7年連続過去最高
- ・北九州港響灘地区 洋上風力総合拠点地区に＝港湾計画一部変更、ふ頭機能等整備へ
- ・大阪港 港湾計画の一部変更＝フェリー大型化に対応
- ・長崎港 水深12mクルーズ岸壁＝港湾計画一部変更了承
- ・東北地整 国際物流戦略チーム本部会合開催 21qwsaed}_2 1 3 q 4 w＝東北港湾の方向性、A I ・ I o T化へ環境整備
- ・和歌山県 洋上風力ゾーニングマップ＝適地候補等、3月中旬に公表
- ・苫小牧港セミナーを開催＝ターミナル機能拡充等PR
- ・港湾局 みなとオアシスを登録＝みやじま・みやじまぐち
- ・NEDO 低コスト施工の技術開発＝洋上風力、基礎工法
- ・洋上風力 運営・保守専門会社設立＝能代市、国内初、日本風力開発等
- ・NEDO 総合指針を策定・公表＝持続可能エネなど
- ・JAMSTEC 深海バイオ外部提供事業＝2/26、本格的に開始
- ・海事局 海運モーダルシフト大賞＝荷主、物流事業者表彰
- ・千葉港湾 マコガレイ産卵＝覆砂海域で確認
- ・東亜建設工業 組織変更、人事異動＝技術センター社長直轄化等
- ・国交省 最先端技術の開発支援＝交通運輸分野、公募開始
- ・官民連携基盤整備募集＝国交省、6月下旬交付

■令和2年2月24日号(第1679号)

- ・港湾分科会 港湾計画改訂、一部変更審議＝基地港湾形成区域設定など
- ・港湾局 第2回防災部会を開催＝港湾分科会、耐震岸壁の整備推進を
- ・港湾局 ICT導入検討委を開催＝現場実証で適用性評価
- ・沿岸センター 洋上風力発電係留施設＝適合性確認業務を開始
- ・日本全国みなと便り (55) 高松港ほか
- ・酒田港 第2北防波堤の本体製作＝北港地区、ケーソン据付は残り7箇所
- ・川崎港 臨港道東扇島水江町線＝関東地整、東扇島の下部工事促進
- ・釧路港ポートセミナー 都内で開催＝コンテナやバルク港湾
- ・大分港海岸 WTOで鋼矢板打設工事＝別件で地盤改良や上部工
- ・セントレア 開港15周年、新たな展望＝魅力的な基幹空港を目指す

- ・津松阪港海岸 各工区で改良整備が進捗＝今後は栗真地区に着手へ
- ・埋浚協会 うみの現場見学会を開催＝大学生ら、東京港臨港道路南北線
- ・白海 荻田港で現場見学会＝ICT活用、浚渫船等
- ・港コン協 国総研、港研と意見交換＝活動報告など協議深める
- ・洋上風力 技術基準の統一的解説＝一般海域、浮体式、年度内に改定
- ・港湾局 みなとオアシス登録＝インランドポート、全国136箇所目
- ・港湾国 みなとオアシス笠岡諸島＝全国137箇所目登録
- ・国交省 浮体式洋上風車セミナー＝商用化、国際動向テーマ
- ・国交省 第63回交通文化省表彰＝廻洋子氏ら4名
- ・苫小牧港 小口混載コンテナ輸送＝農水産物輸出拡大へ
- ・国交省ら インフラメンテ大賞募集＝取組、技術開発表彰
- ・書評 マネジメント実践読本＝広田宗一著

■令和2年2月17日号（第1678号）

- ・防災・減災施策 設計沖波更新、耐波性能照査＝港湾局、海面上昇予測量の設定も
- ・港湾関係 地方創生港整備交付金＝補正予算12億円配分
- ・国交省 土木工事等の積算基準＝改定内容を公表
- ・岡山県ら 水島港セミナーを開催＝優位性をアピール
- ・洋上風力 技術基準の統一的解説＝年度内に改定版公表
- ・国交省 グリーンインフラプラットフォーム＝3/13総会、シンポ
- ・日本全国みなと便り（54）三河港、衣浦港、中山水道航路
- ・横浜港 新本牧ふ頭の第1期地区＝市事業、B-1護岸本体工事へ
- ・新潟港 護岸嵩上げと中仕切堤＝西港区、航路泊地付帯施設整備
- ・金沢港 西防波堤改良の築造＝令和元年度補正予算
- ・鹿児島港 臨港道鴨池中央港町線＝橋梁部工事がスタート
- ・広島港セミナー コンテナ取扱量過去最高＝利用促進へ利便性PR
- ・清水港 日の出埠頭の再編改良＝鋼管打設工等2件手続き
- ・東扇島広域防災拠点 発災時の初動を机上演習＝ヘリの離着陸訓練も実施
- ・国交省 交通政策基計小委を開催＝首都圏空港の動向等
- ・関東地整 第14回海の再生全国会議＝東京湾の未来、4大湾の取組み等
- ・環境省 瀬戸内海の環境保全方策＝パブコメ、小委が答申案まとめ
- ・航空局 補正予算6.4億円配分＝ゼロ国121億円
- ・水産庁 海洋ごみ削減対策を支援＝来年度予算、補助事業者公募
- ・国交省 砂浜保全、支援方策検討＝地域活性化実現へ
- ・建設発生土 官民有効利用マッチング＝国交省、利用拡大へ検討
- ・関門港クルーズ商談会＝下関市、北九州市等

- ・岡山大学 AUV技術、実証成功＝海技研と共同研究

■令和2年2月10日号（第1677号）

- ・港湾関係 補正予算配分方針を公表＝経済活力維持・向上、高波対策100億円等
- ・調査・設計等 国交省登録資格を追加＝加点评価、特別港湾潜水技士など
- ・滑走路改良 福岡空港ECI方式採用＝港湾空港関係で全国初
- ・港湾局・水産庁 放置艇対策へ検討会＝今後の対応策など
- ・国交省 成田空港の施設変更許可＝C滑走路の新設等
- ・酒田港 地港審で計画改定案了承＝山形県、今月開催の港湾分科会へ
- ・東北地整 久慈港防波堤に60億円＝補正予算、復興特別会計170億円
- ・関東地整 東京湾中央航路など＝直轄補正予算67億円
- ・北陸地整 直轄の補正58億円強＝伏富港岸壁改良など
- ・名古屋港 飛島、金城ふ頭の整備促進＝再編、耐震化で機能強化へ
- ・八代港 大築島でSCP地盤改良＝航路浚渫土砂の受入施設
- ・大阪港 北港南地区航路泊地浚渫＝WTOで15万m³規模
- ・CNAC 第14回全国フォーラム開催＝情報共有、海ごみ問題を考える
- ・港空研 イノベーションセンター設置＝革新的研究開発を支援
- ・秋田港・能代港 洋上風力発電事業化決定＝2022年運転開始、丸紅等14万kW規模
- ・東亜建設 バングラでSEZ造成＝浚渫等、受注契約85億円
- ・日本郵船ら エジプト完成車専用ターミナル＝2021年末から運営
- ・航空局 グラハン強化へ対応策＝アクションプランまとめ
- ・海事観光 推進協議会WGを開催＝航路情報検索システム
- ・長期傭船 ブラジル向けFPSO＝三井海洋開発など4社共同
- ・PSAJ 障がい者設備適合認証＝マリン関係者向け研修会
- ・日本政策投資銀行 東京湾LNGバンカリング＝供給船整備事業を支援
- ・海事局 革新的造船技術開発支援＝生産性向上、募集開始

■令和2年2月3日号（第1676号）

- ・洋上風力 基地港湾指定へ港計変更＝改正法2月施行、秋田・能代、鹿島、北九州
- ・国交省等 海岸保全あり方検討委＝海面上昇、外力設定、施設設計など
- ・港湾局 港湾施設の工夫事例集＝点検診断、維持管理計画
- ・和田政務官 マレーシア等へ出張・会談＝交通運輸セミナーも開催
- ・日本全国みなと便り（52）網走港
- ・能代港 地港審で港湾計画改訂案＝洋上風力対応機能、岸壁増深、ふ頭用地拡張
- ・秋田港 港湾計画の一部変更＝海洋再生可能エネ拠点
- ・仙台塩釜港 床掘と地盤改良の手続き＝塩釜港湾、仙台港区ふ頭再編改良

- ・函館港 客船ターミナル＝新年度に実施設計
- ・中部地整 「伊勢湾の港湾ビジョン」＝2030年の港の姿示す
- ・九州地整・埋浚 若手技術者成果発表会＝技術的情報交換しスキルアップ
- ・広島県東部港湾セミナー開催＝福山港の利用促進呼びかけ
- ・荻田港 水深13m岸壁の泊地浚渫＝新松山地区、バイオ発電資材受入れ
- ・SCOPE・沿岸センター 2020年新春講演会開催＝洋上風力発電の取組動向
- ・リサイクルポート 国際資源循環部会を開催＝災害廃棄物処理も対応強化
- ・国交省 次期交通政策基計策定へ＝中長期的指針、小委員会開催
- ・2019年速報 クルーズ旅客数・寄港回数＝前年比減、寄港地の分散化等進む
- ・港湾局 極東港湾との連結性強化＝意見交換、コンテナ情報システム接続等
- ・アセス配慮書 薩摩洋上風力60万kW＝アカシア、三井不動産
- ・港湾局 港湾基本方針、意見募集＝基地港湾制度等を追記
- ・海事局 海事産業将来像検討会＝産業競争力強化施策など
- ・福岡市ら 博多港振興セミナー＝航路網、機能強化等をPR
- ・青木副大臣パナマ出張等＝通航料金等で要請
- ・クルーズ複数港予約対策＝港湾局が試行的支援
- ・土木学会 台風19号防災・減災提言

■令和2年1月27日号（第1675号）

・港湾議連総会 後任会長に竹下亘氏が就任＝安全・安心、産業活性化、地域の声を予算に反映

- ・港湾局 重要港湾主幹課長会議＝要請事項、施策の方向性等を説明
- ・港湾関係5団体 新春賀詞交歓会を開催＝整備推進、一丸となって活動を
- ・港湾局 補正予算、新規事業評価＝洋上風力対応、能代港ターミナル整備
- ・日本全国みなと便り（51）東京港ほか
- ・鹿島港 港湾計画一部変更案了承＝地港審、洋上風力発電拠点の形成
- ・横浜港 本牧A突堤物流拠点＝基盤整備は新年度概成
- ・酒田港ポートセミナー開催＝コンテナは6年で3倍
- ・東京港 中防外側コンテナターミナル＝Y3バース着工に期待
- ・鹿児島港 クルーズ岸壁築造工事＝WTO2件入札手続きへ
- ・福山港 箕沖ふ頭再編改良事業＝土留めブロックの製作工
- ・水島港バルクバース整備＝WTOで航路等増深工事
- ・成田空港 滑走路の増設・延伸事業＝航空分科会、新規事業採択時評価
- ・JWPA 2019年風力導入量（速報）＝累計302万kW、洋上風力アセス14GW
- ・JWPA 洋上風力の導入促進策等＝長期導入目標、3月ビジョン策定
- ・マイクロネシア ポンペイ港の拡張計画＝開発協力適正会議、無償資金協力、FS検討

- ・北海道 7 空港 ビル施設事業をスタート＝北海道エアポート
- ・日本郵船 自航式 S E P 船共同保有へ＝洋上風力、蘭企業と覚書締結
- ・清水建設 J E R A と覚書を締結＝秋田県沖、洋上風力で協働
- ・港湾協会 ポートオブザイヤー2019＝表彰式、釜石港が受賞
- ・国交省 防災・減災対策本部設置＝初会合、今夏にとりまとめ
- ・航空局 空港技術報告会論文集＝災害対策・技術等
- ・港湾局 外来トレーラーの自動化＝来年度、新規実証事業
- ・羽田空港、実機飛行確認＝新飛行経路運用開始へ

■令和2年 1月20日号 (第1674号)

- ・羽田空港 アクセス鉄道調査に着手＝J R 新線、京急の待機場
- ・港湾局・エネ庁 促進区域指定へ要望受付＝令和2年度、都道府県から候補地等
- ・建設業 女性定着促進へ新計画策定＝官民目標、具体策、赤羽大臣に手交
- ・一部改正 浮体式洋上風力技術基準＝海事局、ガイドライン見直しも
- ・日本全国みなと便り (50) 松山港、東予港ほか
- ・八戸港 航路泊地付帯施設の整備＝主要プロ、県は河原木 A 岸壁調査
- ・網走開建 航路護岸や航路浚渫等＝第2湖口、サロマ湖漁港の整備
- ・新潟県 両津港、南埠頭再編＝2月の地港審に付議
- ・高知港海岸 第2ライン改良事業進捗＝湾口津波防波堤の設計も
- ・下関港 クルーズバース整備＝ケーソン築造工事開始
- ・岩国港 臨港道路4号橋に着手へ＝3号橋は1P着工の準備
- ・J W P A 令和2年新春賀詞交歓会＝洋上風力の本格導入へ期待
- ・港コン協 「働き方改革」の推進等＝地整局らと意見交換会開催
- ・神戸～小豆島 「災害時支援船活動」訓練＝自治体・船・医療関係者
- ・N E D O 洋上風車の維持管理技術＝開発テーマの選定等
- ・J E R A 洋上風力の国際組織に参画＝海洋再生可能エネ連合
- ・日廻運輸交通技術者＝ヤンゴンで交流会開催
- ・国交省 シベリア鉄道利用の実証＝名古屋港、精密機械輸送
- ・世界初 L N G 大型石炭専用船＝日本郵船、商船三井、九電、基本協定書締結
- ・川崎重工 L N G 二元燃料システム＝採用タンカー A i P 取得
- ・N E C ミャンマー3空港で受注＝航空管制レーダシステム
- ・ウェザーニューズ社 北極海航路、海氷、開通機関等まとめ

■令和2年 1月13日号 (第1673号)

- ・長崎県五島市沖 洋上風力促進区域を初指定＝港湾局・エネ庁、秋田県沖等でも検討進む
- ・国交省 i - C o n 大賞受賞者決定＝生産性向上、東洋、白海等が優秀賞

- ・新春のご挨拶 赤羽国土交通大臣
- ・日本全国みなと便り (49) 八戸港・むつ小川原港
- ・国交省ら PPP/PFI 推進説明会 (2/12)
- ・茨城県 常陸那珂港区の東防波堤＝主要プロ、県は土砂処分場に着工
- ・横浜港 台風 15 号復旧方針決定＝検討会、福浦・幸浦、本牧地区
- ・横浜港 金沢地区で緑地＝護岸整備に対応
- ・大阪港 余水吐等工事の手続き開始＝北港南航路附帯施設整備
- ・神戸港 PI 2 期 荷捌き地の耐震改良へ＝業務で拡張部の施工計画
- ・境港 長期構想第 3 回委を開催＝2 年度の計画改訂へ作業
- ・博多港 国際 CT 岸壁延伸事業＝上部等の仕上工手続きへ
- ・年頭の辞 和田国交省航空局長
- ・企業トップの年頭所感
- ・四国地整 四国港湾ビジョン検討委＝第 2 回会合、中間とりまとめ
- ・環境省 浮体式風力で新規事業＝適地抽出、産学官協議体の設置等
- ・赤羽大臣 東南アジア 3 カ国出張・会談＝港湾分野の覚書締結等
- ・水産庁 水産基盤整備事業 711 億円＝来年度予算、強靱化対策、新規事業等
- ・第 8 回 ものづくり日本大賞決定＝海事関係功労者等
- ・港空研 革新的研究開発推進事業＝ケーソン動揺低減技術 (東亜)
- ・NEDO IEA Wind セミナー＝2/18 開催、洋上風力等

■令和 2 年 1 月 6 日号 (第 1672 号)

- ・港湾局来年度予算 防災・減災対策等を重点化＝戦略港湾政策の取組推進も
- ・赤羽国土交通大臣新春インタビュー 基幹航路の維持・拡大を
- ・港湾局 高潮・高波・暴風対策＝中間とりまとめ報告
- ・国総研予算 令和 2 年度に新規 6 課題＝CT 混雑等の継続課題も
- ・国交省 モデル工事 30 現場選定＝建設キャリアアップシステム
- ・特定技能外国人受入へ＝国交省、通知発出
- ・日本港湾コンサルタント 高橋専務が社長に昇格＝大村氏は代表取締役会長
- ・新年のご挨拶 高田国土交通省港湾局長
- ・港湾 B S P 策定ガイドライン年度内に改訂＝直前予防対策の位置付け等
- ・海事局 来年度予算案約 94 億円＝海事生産性革命の深化等
- ・エネ特会 令和 2 年度予算案 7481 億円＝経産省分、洋上風力、海底資源開発等
- ・東京オリパラ 円滑な港湾物流の確保へ＝国交省、都が連絡協議会
- ・羽田地盤改良 全ての修補工事が完了＝検討委開催し最終まとめ
- ・調査報告 台風 15・19 号の沿岸災害＝土木学会海岸委員会
- ・日本全国みなと便り (48) 根室港ほか

- 川崎港タグボート基地＝東扇島地区に新設
- 横浜市 ブルーカーボンクレジット認証